

自性心

第108号

R 6. 8. 1

編集発行

〒010-0201

秋田県潟上市天王寺天王71

龍巖山自性院

TEL 018(878)2049

FAX 018(878)5488

印刷／秋田印刷製本株式会社

数年ぶりに再開した檀信徒による
大本山『永平寺』研修旅行、前日よ
り心ワクワクで寝付けなかつたが、
早朝五時前に起床し、集合場所（天
王橋近く）に出発時間十五分前ぐら
いに到着した所、大半の参加者がバ
スに乗車しておりました。

バスは秋田中央交通六十
人乗りの新型大型観光バス

で、長旅には最適の車両で
二泊三日楽しく過ごせる予
感であります。住職含め
男性六名女性十六名合計

二十二名での道中です。自
性院家族皆様と参加者家族
の盛大なるお見送りで出発、
いざ永平寺へ。夏井「美人」
ガイドと武石添乗員で旅が

始まりました。ガイドは、山
形、新潟、富山、石川、福井
の各観光名所の案内説明に
は場数を踏んだ内容であり
関心しているうちに、大本

山『永平寺』に到着しました。
これから翌朝までしばら
く俗世を忘れ仏事に専念し仏様よりパワーを戴き日頃の悪事を浄化し
たいと思います。参加者が、山門に集合し記念撮影後、永平寺内へ入場

し大広間にて、担当雲水さんより修行内容・規則についての説明を受け、心の準備を整へ宿坊へ。

まずは、入浴で身を清め夕食（薬石）場所（応供台）に案内、夕食
作法について説明を受け食事（会話無し）夕食がどこへ入ったのや
と秋田に着きました。二泊三日の弾丸バスツ
アーチの様な旅でしたが、檀家の皆様と仲良く楽
しく無事に帰つて来られた事が何よりも安堵致
しました。

その日は岐阜県の飛騨高山で白川郷などを拝
観し、翌最終日は富山、新潟、山形と下り、やつ
と秋田に着きました。二泊三日の弾丸バスツ
アーチの様な旅でしたが、檀家の皆様と仲良く楽
しく無事に帰つて来られた事が何よりも安堵致
しました。



大本山永平寺参拝記念　自性院本山参拝団　令和6年6月8日

大本山永平寺参拝研修旅行に参加して

※講師の内容は、次のとおりです。

◎この世はこんなにも儂いものであるの
かとわかつたら、仏様、教え、それを信じ
る仲間たちを心から敬いましょう。現世で
も生まれ変わつても敬いましょう。……
寝ても覚めても南無帰依・南無帰依法・
南無帰依僧忘れずに休まずに唱えましょ
う。というありがたい法話でした。法話後
雲水さん（百三十？人）の修行映画上映（N
HK放送）「雲水さんの修行の大変さにつ
いて」宿坊に戻り直ちに自分で布団を敷い
て就寝。あまりの早い床入りで眠れないか
と思つていたら翌朝四時前まで酒も飲まず
に爆睡で仏様の御利大いにあり。翌朝、西
田副監院の法話（松竹梅について）、松は一
年中緑を保ち、梅は寒苦を経て清香を発し、
竹は雪にも折れることなく無事をあらわし
節々の大切さ。有難い法話を拝聴。朝のお
勤め参加（約一時間半）、諸堂の説明案内、
朝食おかゆ）修行最終日の食事としては最
高であった。午前九時の下山時、この春か
ら修行中の千蒲駿道雲水さんが修行の忙し
い中、我々自性院檀家信徒のため、わざわ
ざ挨拶に来て元気な姿を見せてくれまし
た。今後、修行を通して道元禪師に少しでも
近づくよう修行に励んで立派な和尚さん
になるよう期待してお別れしました。

山門をくぐり現実に戻ると直ちにわがま
ま人間に戻り、昨日から朝までの信仰心があ
つという間にどこかへ行つてしまい、今
日から二日間の観光旅行に心が躍り観光バ
スに乗車し永平寺を後にしました。また機
会がありましたらお参りしたいものです。

児玉孝文　合掌

檀信徒会館（広間）

屋根雨漏り修理開始

令和五年秋に室内で雨漏りの音が聞こえて屋根裏に上つてみると棟部分から水が入っていることを確認しましたので、業者さんに相談し今年の春に現地調査をして頂きました。結果、屋根の棟の上に瓦が十枚位重なっていますが、それを支えているボルトの所から雨漏りが進んでいるとの事で、広間の屋根全面に足場を組み瓦の撤去処分をし、その部分を木造で復元し銅板で加工する流れで工事が進む事と成りました。（総代会でも承認されております）工事は七月から始まり、お盆を含む二か月位の期間ご不便をおかけ致しますが、ご承知おき下さい。

工事見積金額（総代会で承認）

一七,三八〇,〇〇〇円

護持会費負担

七,三八〇,〇〇〇円

宗教法人負担

一〇,〇〇〇,〇〇〇円



□自性院評議員会

自性院評議委員会次第及び決議事項と報告事項は左記の通りです。

一、住職挨拶

（総代会長 上村千代志氏）

二、議長挨拶

（総代会長 上村千代志氏）

三、議題

①令和五年度事業報告

令和五年度維持費収支決算監査報告

②令和六年度事業計画

令和六年度維持費予算

③その他

・自性院役員会は、法要部会、広報部会、研修部会を設けて当寺護持運営と、役員相互の研修及び親睦を目的として居ります。新役員を含め役員名簿と部会は下記の通りです。

令和六年四月二十七日 午後二時半総代会
午後二時半評議員会 於自性院

自性院役員会報告

●総代

	地区	氏名	部会
1	二田	上村千代志	総務
2	天王	沼田 豊	法要
3	大崎	三浦貞一郎	監査
4	児玉	児玉 孝文	総務
5	船越	三浦喜代志	監査
6	羽立	安田 丈吉	法要
7	江川	児玉 正生	総務

総代 7

評議員 25

合計 32

(順不同)

●評議員

	地区	氏名	部会		地区	氏名	部会
1	天王	越後 和雄	法要	14	大崎	吉田 浩典	法要
2	天王	大野 庄一	法要	15	大崎	三浦 誠治	法要
3	天王	京谷 政幸	広報	16	羽立	鈴木 爲彦	法要
4	天王	鎌田 健一	総務	17	羽立	児玉 博光	法要
5	天王	児玉 功	法要	18	羽立	安田 安範	研修
6	天王	鎌田 悟	法要	19	羽立	安田 孝一	法要
7	天王	石川 浩之	法要	20	塙口	桜庭新之助	監査
8	二田	吉田 朋志	広報	21	塙口	桜庭 龍一	法要
9	二田	渡部 正敬	法要	22	塙口	石川 茂	法要
10	二田	加藤 晶伸	研修	23	中羽立	菅生 均	法要
11	二田	真壁 善一	研修	24	中羽立	菅生 清穏	法要
12	大崎	三浦 義勝	研修	25	渋谷	桜庭幸二郎	研修
13	大崎	菅原 久樹	研修				

■総務部（事業計画担当）部長 上村千代志 副部長 児玉孝文 ■監査部（維持費会計監査担当）部長 三浦貞一郎 副部長 三浦喜代志

■法要部（恒期法要担当）部長 沼田豊 副部長 安田丈吉 ■広報部（寺報編集担当）部長 京谷政幸 ■研修部（研修・企画担当）部長 三浦義勝

令和6年度 自性院行事上半期報告

3月 1日(金) 自性心第107号発行

13日(水) 法要部会



17日(日) 彼岸入り

20日(水) 彼岸中日



彼岸入り



彼岸中日

彼岸明け

23日(土) 彼岸明け



29日(金) 涅槃会・開山忌・檀信徒供養



涅槃会・開山忌・檀信徒供養



花まつり(降誕会)梅花講員

4月 8日(土) 花まつり(降誕会)梅花講員

14日(日) 臨時総代会



27日(土) 自性院監査部会、総代会、評議委員会

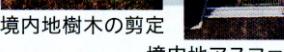


5月 1日(水) 境内地樹木の剪定

11日(土) 永平寺参拝説明会



17日(金) 自性院永代供養墓開眼法要



26日(日) 濁上市主催避難訓練



永平寺参拝旅行

28日(火) 自性院檀信徒会館雨漏り工事説明



佛堂

29日(水) 濁上市主催認知症カフェ



中雀門

29日(水) 境内地アスファルト舗装

6月 8日(土)~10日(月) 永平寺参拝旅行



檀信徒会館屋根の雨漏り修理

秋田県梅花大会

7月 1日(土)~9月1日(日) 檀信徒会館屋根の雨漏り修理開始

8日(月) 秋田県梅花大会 秋田テルサ

年回表									
百回忌	五十回忌	三十三回忌	二十七回忌	二十三回忌	二十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌
大正十四年 1925年	昭和五十年 1975年	平成四年 1992年	平成十四年 1998年	平成二十四年 2002年	平成二十年 2008年	平成二十四年 2012年	平成三十年 2018年	令和五年 2022年	令和五年 2023年

◆自性院・長沼禅苑定例会◆

[坐禅と写経の会] 毎月第2第4日曜日(9時~11時) 於 長沼禅苑

[梅花講] 每月9日、18日(13時~15時) 於 自性院

毎月第1、第3火曜日(13時~15時) 於 長沼禅苑

◆邦楽教室◆

[尺八教室] 月2回 日曜日 午後1時~3時 於 長沼禅苑

[お箏教室] 毎週土曜日午前9時30分~10時30分 於 長沼禅苑

八月

●お盆棚経

※今年も昨年同様、檀信徒皆様には大変恐縮ですがお盆のお経は十一日～十五日の間で廻らせて頂きたくお願ひ申し上げます。(日程等は左上に記載しております。)

ご都合のある方、お休みしたい方、お留守にする方は前もって連絡をお願い致します。

●墓経(境内) 十三日(火) 午後一時～午後五時三十分までです。
込み合うかと思われますがご了承下さる様お願ひ致します。

●灯籠流し

八月二十日(火) 午後六時より

(天候によって変更、又は世情見極め中止となる事もあります。)

主催 天王船越仏教会

場所 船越漁港
灯籠の申し込み

八月十九日迄

灯籠をご希望の方は予めお申し込みください。

〔一,〇〇〇円〕

※灯籠流しは大切な送り盆行事です。仏壇にかかり、漁港に行けない方は十九日までにお寺に持参してください。

※様々な物価上昇により現行の燈籠代では運営できることとなり、令和七年度より一,〇〇〇円に改定となります。

13日(火)	《午前》7時～	二田二区・三区 渋谷・児玉
13日(火)	《午後》13時～	二田駅前・二田一区
13日(火)	《午後》13時～	二田二区・三区 二田新町 中羽立・塙口・蒲沼・ 羽立・北野・塙口・北野・ 追分・秋田市 天王(本町・下町・荒町・曲町)

十三日の墓経は午後一時からの読経になります。
本堂で夕方読經いたします。(午前中は各自でのお
参りになります)

15日(木)	《午前～午後》7時～	羽立・北野・塙口・北野・ 追分・秋田市 天王(本町・下町・荒町・曲町)
14日(水)	《午前》6時半～	大崎・羽立
14日(水)	《午後》13時～	二田新町 中羽立・塙口・蒲沼・ 羽立・北野・塙口・北野・ 追分・秋田市 天王(本町・下町・荒町・曲町)

◎お墓参り

八月中の月命日のお勤めは、棚経がありま
すのでお休み致します。お勤めをご希望の
方は予めご連絡願います。

供物を上げたままにするとカラスなどが食
べ荒らし、お墓の汚れの原因になりますので、必ず持ち帰りましょう。

九月以降

●キャリアウイーク 天王中学校(予定)

十月二十二日(火)～二十五日(金) 自性院

●萬燈供養

十一月十七日(日)

年に一度の合同法要です。法要の参加申し込みは、寺報に折り込みの用紙にご記入の上、供養料を添えてお寺へお届けください。尚、参加人数に制限があります、五十組になります。

第〆切らせて頂きます。

●成道会 十二月八日(日)

●梅花講鈴納め 十二月十八日(木)

●除夜の鐘

十二月三十一日(火)
(午後十一時三十分打ち出し)

●訃報

当寺役員として、これまでの長い間
自性院護持に積極的なご尽力を頂き、
心より深謝申し上げご冥福をお祈り
致します。

元総代・三浦良一氏(九十二歳)

令和五年十月六日 逝去